

利根中央病院

病院 だより

第36号
2014年春号

企画発行 利根中央病院地域連携室
〒378-0053 群馬県沼田市東原新町1855-1
電話 0278-22-4325(直通) FAX 0278-22-4393
URL <http://www.tonehoken.or.jp/>

理念と方針

- 理念** 安心と安全 参加と協同
患者中心のチーム医療
- 方針** 救急体制の充実、いつも安全確認
絶やさぬ笑顔
診療情報提供と共に作る診療計画
広げよう人と人との結びつき
すすめよう健康づくりまちづくり





腹痛症例の院外からの受け入れ窓口一本化について 外科部長 郡 隆之

中学校でのピロリ菌の学校検診の試行 病理診断科部長 大野順弘

2014年度 新任医師・研修医紹介

新病院建設進捗状況報告 新病院建設事務局長 布施正子

地域連携室・相談支援室の場所が変わりました

腹痛症例の院外からの 受け入れ窓口の一本化について



外科部長
郡 隆之

日頃は貴重な症例をご紹介いただきましてありがとうございます。今年度は外科が1名増員となり体制が強化されました。それに伴い腹痛症例の院外からの受け入れ窓口を外科に一本化させていただくこととなりました。

腹痛症例は緊急手術が必要な症例が含まれており、早期の診断が治療成績の向上につながります。腹痛症例は臨床所見のみでは緊急手術症例との鑑別が困難でCTによる画像診断は強力なツールです。しかし放射線画像診断医の報告書を待っている間は早期治療のタイミングを逃しかねません。

そのため当院では6年前から外部講師を招いて腹部急性腹症のCT画像診断トレーニングを行い外科医のCT画像診断率の向上を行ってきました。私もこの6年間で3000件以上のCT画像をトレーニングしてきましたが、現在外科医による画像診断の正診率は95%以上になっております。また、病院の画像を自宅や外出先で読影できるシステムも導入しており、夜間休日でも迅速に治療できるよう体制を整えております。

しかしながら腹痛症例は内科にご紹介いただくことが多く、外科的治療が必要な腹痛症例が治療に至るまでに院内で時間を費やしてしまう問題がありました。そのため、4月より腹痛症例は外科で初診を担当させていただくこととなりました。当院の初診の待ち時間が長いとの苦情も頂戴しており、患者様の待ち時間短縮にも貢献できるものと思います。



つきましては時間内の腹痛症例は今後外科に直接ご紹介をお願いいたします。お電話を外科に一報いただければ患者様の来院前に事前準備させていただきます。尚、夜間休祭日については引き続き救急外来へご紹介いただければ、当直医が対応させていただきます。今年度は緊急症例も含めて断らない体制を強化したいと思いますので、よろしくをお願いいたします。

中学校でのピロリ菌の 学校検診の試行



病理診断科部長 大野順弘

昨年2月に内視鏡検査での胃炎の確認の要件はありますが、慢性胃炎の患者さんも保険で除菌治療が受けられるようになりました。除菌による胃がん予防が国策としても認められたこととなります。中高年では除菌治療により胃がんのリスクが1/3に減少するとされていますが、青少年の段階であればリスクをゼロにできると考えられています。

高校2年生を対象に尿検査によるピロリ菌の学校検診を6年間2641人に実施した結果が信州大学の消化器内科から報告されています。尿検査で116人(4.4%)が陽性で60人が内視鏡による2次検診を受け、培養で感染が確認された49人について薬剤感受性を考慮した除菌治療の実施により、治療後の検査を受けた46人全員が1回で治療に成功したと報告されています。

当院でも、沼田市内の某中学校の先生方、生徒さん、保護者の皆様、群馬大学小児科の協力をいただいて、ピロリ菌の学校検診を昨年試行しました。3年生125名全員の保護者から同意をいただいて5月の学校尿検査の際にピロリ菌の検査を試行しました。7名が陽性でしたが確認の便中抗原検査で1名が陰性で、残る6名のうち4名が小児科を受診して治療の説明を受けてくださり、3名は群馬大学小児科での内視鏡検査の後に保険での除菌治療、1名は当院小児科での自費での除菌治療を受けていただきました。

昨年は多忙な3年生を対象としたため、公費で治療が受けられる瀬戸際の春休みの治療となってしまいましたが、今年度は尿検査で陽性の場合、すぐに小児科で治療の説明を受けていただくことにして、夏休み中に初回の治療を受けていただけるよう変更します。加えて今年度に限り全学年で検査を試行して、来年度以後は1年生での試行に変更する予定です。

ピロリ菌の学校検診を、近い将来に利根沼田地域の全中学校に広めたいと考えています。そしてがん年齢に入りつつある保護者の方に除菌治療による胃がん予防の意義を理解していただけるよう、地域での胃がん死亡ゼロを目標に、ピロリ学校検診の試行を続けてゆきたいと考えています。



ピロリ菌

2014年度 新任医師紹介

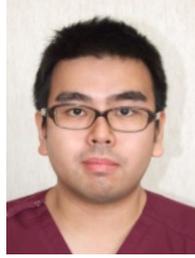
総合診療科



鈴木 諭

4月より総合診療科開設の為、赴任して参りました。利根沼田地域における総合病院としての医療機能を最大限発揮できるようにする為、各専門科の橋渡しとしてのオールラウンダーな病院内医療が提供できたらと考えています。地域の皆様とは救急急性期を中心とした医療連携強化ができたかと考えています。よろしく願っています。

産婦人科



日下田 大輔

4月より群馬県立医療センターから赴任しました。産婦人科にやりがいを感じております。群馬県、利根沼田地域の医療に貢献できるように頑張ります。よろしく願っています。

腎臓内科



茂木 伸介

初めまして。今年4月に赴任してまいりました茂木と申します。主に腎臓・膠原病を中心に診療させて頂いております。何かありましたらお気軽にご紹介いただければ幸いです。今後ともよろしく願っています。

泌尿器科



富田 健介

4月から勤務しております。患者さん、ご家族の方に分かりやすい説明を心掛けたいと考えています。よろしく願っています。

整形外科



金澤紗恵子

4月より赴任して参りました。4年前にも利根中央病院で働かせていただく機会がありました。その際、地域のみなさんの温かい人柄に支えられました。至らない点も多いと思いますが、利根沼田地区の医療に貢献できるよう頑張りたいと思いますので、よろしく願っています。



坂根 英夫

はじめまして。私は平成23年に群馬大学を卒業し、昨年度群馬大学整形外科に入局いたしました。まだまだ力不足な面もありますが、利根沼田地域の医療に少しでも貢献できるように頑張ります。よろしく願っています。

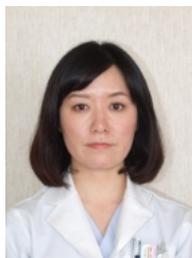


細川 高史

4月から赴任しました整形外科の細川高史（たかふみ）と申します。平成17年以來の再赴任です。和を大切に診療したいと思っております。1年間宜しくお願いします。



外科



德田 尚子

4月から外科に赴任となりまして、徳田と申します。赴任して一ヶ月が経ち日々様々な疾患に触れられ、戸惑うことも多いですが刺激を受けております。一年間という短い期間ですが幅広い疾患を経験するなかで、少しずつ成長していけるよう努力しようと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



葉山 雄大

4月よりお世話になります。利根沼田地域に貢献できるよう、また自分自身レベルアップできるように頑張ります。

小児科



浅見 雄司

今年度より赴任してまいりました。浅見雄司と申します。利根沼田地域の小児医療に貢献できるよう努力していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



櫻井 伸晴

4月より赴任して参りました櫻井伸晴と申します。小児科医として皆様のお役に立てるよう日々努力していきたいと思っております。宜しくお願いします。

研修医紹介



浦部 貴史

皆様初めまして、研修医の浦部です。縁あってこの病院で研修させてもらうことになり大変嬉しく思っています。慣れないことが多いですが、元気に精一杯頑張りたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。



今年度より医師としてのスタートを利根中央病院から始めさせて頂きます、田坂です。一日も早く地域で必要とされる医師になれるよう、努力していきます。まだまだひよっこではありますが、よろしくお願いいたします。



田坂 元宏

夢をかたちに

シリーズ「新病院建設」No.5 進捗状況

新病院建設事務局長 布施 正子



建築は順調に進んでおり、4月21日から、第1節（1～3階の途中まで）の鉄骨が建ち始めました。いよいよ新病院の外観が立体的となってきます。建設現場事務所に「病室モデルルーム」も設置され、手すりやナースコールの高さ、洗面台の設置位置等、職員や組合員に足を運んでもらいながら具体的に確認し、療養環境の整備も図っていきます。

先日建設事務局メンバーを中心に、新築移転（引越し）の経験について他病院の担当者と懇談してきました。医療機器や什器備品はもとより、患者様の搬送や受け入れについて今後は検討していきます。沼田利根医師会のみなさまのご理解とご協力を得ながら、安全に新病院の稼働が図られるよう検討をすすめたいと思います。



地域連携室・相談支援室の 場所が変わりました

平成26年2月10日より地域連携室・相談支援室の場所が、正面入り口入って左側の受付並びに変更になりました。文書係窓口の隣りです。

以前使用していた連携室・相談支援室は、現在、患者様と面談を行う面談室として使用しております。

場所の変更により、医事課や文書係と同フロアになったことでより密な院内連携を図ることが出来るようになりました。

平成26年度も前年度同様、医師1名、退院調整看護師2名、MSW3名、事務員2名の8名で業務に当たらせて頂きます。

今年度も宜しくお願い致します。

